

建設 文教

当委員会は9月15日、19日と審査を行い、全17議案を原案どおり可決し、請願1件を採択しました。

主な内容は、野高屋住宅(畑野)建設工事の竣工に伴い、住宅及び駐車場を平成18年10月1日から管理を開始するために、佐渡市営住宅条例の一部を改正、平成19年4月から馬首小学校を加茂小学校へ、岩首小学校と片野尾小学校を野浦小学校へ統合するため佐渡市立学校設置条例の一部を改正するものでした。

新たに生じた土地の確認、字の変更(住吉地内)の2議案は、新潟県が海岸侵食対策事業(ふるさと海岸整備モデル事業)により施工した護岸用地と佐渡市単独事業により施工した道路用地の造成工事が完了し、知事の竣工許可を得たことから、議会議決を求めるものでした。

簡易水道特別会計補正予算(第1号)は、既定の予算に6

460万4000円を追加し、建設改良費の増額、人件費を減額、下水道特別会計補正予算(第1号)は、一般会計繰入金を減額し、繰越金を270万円増額、水道事業会計補正予算(第2号)は、老朽管更新事業に伴い、1700万円を増額し、職員の変動等により人件費を1846万5000円減額するものでした。

行政視察報告 第1班

平成18年7月10日(月)～12日(水)

(1) 北海道富良野市

シーニックハイウェイ

(風景街道)の取組みについて
シーニックハイウェイ計画策定業務委託料270万円を、佐渡市は平成18年度予算に計上している。

シーニックとは景色、ハイウェイとは脇道の意味で、米国よりスタートしたものであり、指定されている3ルートのうち、国道237号線を軸とした「大雪・富良野ルート」を調査した。北海道を周遊する観光客は、乗用車やレンタカーの利用であり、沿道の風景や地域とのふれあい

を求め、ルートそのものを楽しむ旅へと変わってきている。近年、ラベンダー畑やパッチワークの丘は多く親しまれている。課題は、運営・活動資金の捻出である。法人組織の設立と活動団体連携プロジェクトを立ち上げている。

(2) 北海道深川市

市町村設置型

合併浄化槽について

市町村設置型合併浄化槽は佐渡市でも導入の検討を始めているものであり、深川市では下水道3事業の総合普及率は86・8



%となっている。市の負担額は浄化槽設置工事費と維持管理費である。財源を食う傾向に加え、人口減少が深刻な課題となっている。

行政視察報告 第2班

平成18年7月12日(水)～14日(金)

(1) 島根県大田市

「石見銀山」

世界遺産登録について

大田市では石見銀山遺跡を視察し、住民による文化財保存のための組織づくりや世界遺産登録に向けて県や市の取組みなどを視察した。現在、佐渡市においても佐渡金山の世界遺産登録に向け様々な方面に働きかけを行っているが、時代背景、繁栄から衰退まで似たような経過をたどっている。

(2) 島根県松江市

市町村設置型

合併浄化槽について

松江市では、市町村設置型合併浄化槽の視察を行った。この合併浄化槽は、市町村が費用を負担し、各戸に浄化槽を設置するもので、公共下水道や集落排水よりコストが抑えられるとい

う利点がある。

現在の佐渡市では、下水道の整備がされていない地域が多くあり、家庭から出る排水もトイレは浄化槽を使用しているが、台所、風呂は直接流しているところもある。このことを踏まえ、合併浄化槽を設置すれば生活排水の処理を集約することになり、個々の家庭の負担を軽減できるものと考えられる。佐渡市は周囲を海に囲まれ、カキの養殖でも知られる加茂湖もあり、環境美化の点から浄化槽設置にもっと積極的に取り組むべきではないかと考える。



世界文化遺産登録が確実な「石見銀山遺跡」

特別委員会

活動報告

議員定数 特別委員会

当委員会は、平成18年3月定例会において「佐渡市議会の議員定数に関すること」を付託事項とし議員発議で設置されました。その後市民から佐渡市議会「特例任期見直し」についての陳情が提出されたことにより、平成18年6月定例会において追加付託され、合計7回の委員会を開催しました。

委員会では、調査資料として、全国の人口5万、10万人の新設合併市における国勢調査人口、面積、条例定数、議員1人当たりの国勢調査人口・面積や、県内20市の動向、全国の近年合併事例のない6万人自治体と類似団体の現状、併せて都道府県議会制度研究会から示されている「議員の位置付けと定数」など

に基づき審議を開始しました。

当市は人口の減少に加え、少子高齢化が進行しているとともに、財政面においては類似団体に中最低位であり、議会費の市政への影響を考慮しながらも、地理的条件においては面積が類似団体中最大で、海岸線は約280kmあり、その海岸線と中山間地には集落が点在し、多種多様な市民ニーズがあるという特性があるとの共通の認識を持ち、慎重審議を重ねた結果、議員定数は28人とすべきものとして決定しました。

行財政改革 特別委員会

佐渡市公共施設見直し指針と普通財産管理計画対象施設（50施設）のうち、相川地区8施設、両津地区4施設について現地視察を実施。今後の利用方針（存

続4、用途変更3、譲渡2、解体3）の説明と施設の利用状況と老朽化度の検証。

公共施設見直し指針第2弾として行政財産1030件の見直し案の説明を受けた。今後の方向性として存続903施設（指定管理96施設）民間移譲86施設と廃止33施設、用途変更4施設との内容。この案は今後の方向性、指定管理者の活用を含め、今後各課のヒアリングを経て方針確定される進行形の案であり、委員から個別施設についての質問と、ヒアリング

に当たって留意すべき点について意見が述べられた。今後、成案説明を受け、委員会の意見取りまとめを行う予定。

また、佐渡市

の財政計画と新市建設計画の検討について、

地方交付税と財政構造
10年後の起債残高
定員適正化計画

行革大綱推進と行政構造
の4点の説明を受けた。

今後の財政計画に基づいた整合性のある新市建設計画事業と普通建設事業の再見直しと行政サービスや組織機構改革案を年次別に策定し、委員会での一体的審査、検討が可能となる計画案提出を求めた。



現地視察した旧二見小学校

決算審査特別委員会 委員の選任

9月26日の本会議において、決算審査特別委員会が設置され、次の委員が選任されました。

委員長	加賀 博昭
副委員長	村川 四郎
委員	大石惣一郎
	本間勘太郎
	木村 悟
	稲辺 茂樹
	廣瀬 擁
	大谷 清行
	小田 純一
	小杉 邦男
	大桃 一浩
	金子 健治
	川上 龍一
	大場 慶親
	近藤 和義

議会質問その後 追跡

学校教育環境整備 検討委員会の審議は

(17年3月定例会での質問)

Q 学校の改修事業が進められているが、小中学校の将来の総数、保育園・幼稚園の統廃合や合理化計画について審議したのか。

A 教育長 小中学校の適正規模、総数等は検討中だが、規模だけでなく、辺地は特色ある学校として残すことも検討している。小学校の増改築など合併前からの緊急性の高い事業は進めているが、幼稚園は保育園との関連で今後の検討課題として。

その後

保育園統合については、地域住民の理解を得ながら次世代を担う子どもたちが健やかにたくましく育つ「佐渡の地域性を生かした環境づくり」を願い進めています。小中学校統合については、小学校の場合「通学時間・距離等や地域とのつながりを考慮して、1学年1学級の普通学級6学級以上を基本」とし、中学校では「地域とのつながりも重要であるが、社会性を育むことを重視する観点から1学年2学級の普通学級6学級以上を基本」とし、小中学校ともに「地理的条件等で統合することが困難な学校については、特色ある学校づくりをして継続」として進めていきます。

保育園の統合計画

地区名	保育園名・園数	計画園数	
		平成18～23年度	平成24～29年度
両津	両尾、河崎、椎崎、湊、夷、歌代、吉井、梅津、羽吉	9園	おおむね5園
	(へき地)豊岡、水津、浦川、海府	4園	おおむね2園
相川	北狄、稲鯨、たかち、相川	4園	おおむね3園
佐和田	河原田、双葉、八幡、沢根	4園	おおむね2園
金井	金井、中興、金井新保	3園	3園
新穂	新穂トキ子	1園	1園
畑野	畑野、川西、小倉、多田	4園	おおむね2園
真野	真野第1、真野第2	2園	2園
小木	小木	1園	1園
羽茂	羽茂	1園	1園
赤泊	赤泊、(へき地)川茂	2園	2園
合計		35園	おおむね26園

小学校の統合計画(小中連携校を除く)

地区名	小学校名・校数	計画園数	
		平成18～23年度	平成24～29年度
両津	両尾、河崎、両津、両津吉井、加茂、馬首(前)、浦川(前)	7校	おおむね3校
相川	相川、七浦、金泉	3校	おおむね1校
佐和田	沢根、河原田、八幡、二宮	4校	おおむね2校
金井	金井、金井吉井	2校	おおむね1校
新穂	新穂、行谷	2校	おおむね1校
畑野	畑野、後山、小倉(前)	3校	おおむね1校
真野	真野、西三川、西三川笹川分校(前)	2校1分校	おおむね1校
小木	小木、深浦(前)	2校	おおむね1校
羽茂	羽茂、大滝(前)、小村(前)	3校	おおむね1校
赤泊	赤泊、川茂(前)	2校	おおむね1校
合計		30校1分校	おおむね13校

(前)は、前期(平成18～23年度)に統合を進めるものです。

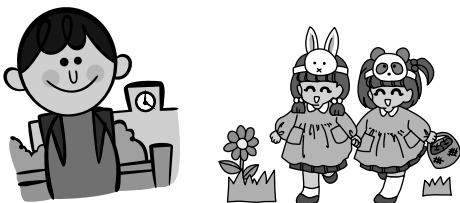
小中連携校

地区名	小中学校名・校数	計画校数(平成18～29年度)
両津	前浜中、岩首小、野浦小、片野尾小	4校
	内海府中、内海府小	2校
相川	高千中、高千小	2校
畑野	松ヶ崎中、松ヶ崎小	2校
合計		おおむね4校

中学校の統合計画(小中連携校を除く)

地区名	中学校名・校数	計画校数(平成18～29年度)
両津	東、南、北(前)	3校
相川	相川	1校
佐和田	佐和田	1校
金井	金井	1校
新穂	新穂	1校
畑野	畑野	1校
真野	真野	1校
小木	小木	1校
羽茂	羽茂	1校
赤泊	赤泊	1校
合計		12校

(前)は、前期(平成18～23年度)に統合を進めるものです。



平成18年6月定例会常任委員会の 要望・意見に対する処理状況

建設文教常任委員会

新潟県佐渡スポーツハウス管理條例の制定について

要望・意見 使用料については県条例で定めた従来どおりの金額にしており、市内他の体育施設との均衡性を欠いているので、十分に精査をし、体育施設全体での金額の見直しを検討すること。

ため、利用者数を増加させる努力をされたい。
社会体育課 佐渡スポーツハウスの維持管理費について市の負担軽減のため県と再交渉を行うとともに、教室・大会等の新規事業の実施と、施設の利用促進を図るために広報を充実し、使用料の増収を図る。

要望・意見 施設の今後の在り方については本年5月に「佐渡市行政事務改善委員会」を立ち上げて施設の管理運営の合理化を検討することとしていたところから、この点の検討を中心として対応する。

平成18年度佐渡市水道事業会計補正予算(第1号)について

社会体育課 今年度、佐渡スポーツハウスを含めた市の社会体育施設全体の使用料について見直しを行って、12月市議会にて条例等を改正し、平成19年度からの施行を予定している。

要望・意見 公営企業金融公庫から借入れしている資金で高利なものについては、繰上償還又は低利に借換えするよう検討すること。

新潟県佐渡スポーツハウスの管理及び運営に関する事務の委託について

水道課 現在は繰上償還の方向で進めているが、繰上償還する場合には補償金残利子額の約74%が必要なことから、今後の企業借入利率、定期預金利率等の推移を考慮し、今後の企業借入額で調整することも併せて考え、水道事業会計に有利な方策を選択する。

要望・意見 施設の必要性については理解するが、管理棟及び体育館については老朽化が進んでおり、今後の施設維持管理に多額の費用を要することになるので、将来的に財政負担が過大とならないよう県と再度交渉をされたい。

また、使用料の増収を図る

福祉協議会に無償貸与とし、管理費用実費は社協負担で対応する。

産業経済常任委員会

佐渡市ふすべ村体験学習施設の設置及び管理に関する条例の制定について

要望・意見 宿泊実績が上がっていないので宿泊料金については施設に見合った料金設定を検討すること。

観光課 過去の平均利用実績を見ても有効に利用されていないところであり、今後、指摘の趣旨を踏まえて検討する。

佐渡市若の平青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の制定について

要望・意見 早急に当該地域と協議し、地元へ払い下げを検討すること。

農地林政課 多目的施設の直営化に伴う地元(集落・関係団体)との業務契約の締結の際に、無償譲渡に関する

地元意向を確認し、県との調整の上で対応する。

針とし、早急に条件を地元と交渉する予定である。

佐渡市高齢者共同住宅の設置及び管理に関する条例の制定について

要望・意見 施設については、今後の確な事業評価を行い、売却、譲渡及び廃止について積極的に検討すること。

高齡福祉課 指摘のあった点も含め、施設の在り方について今後検討する。

佐和田町福祉センター喜楽荘の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

要望・意見 施設については、利用の実態を鑑み、売却、譲渡及び廃止について積極的に検討すること。

社会福祉課 当面は社会

市民厚生常任委員会

佐渡市両津健康保養センターの設置及び管理に関する条例の制定について

要望・意見 施設については、今後の確な事業評価を行い、売却、譲渡及び廃止について積極的に検討すること。

社会福祉課 老朽化が著しいところもあり、当面直営として対応しつつ、利用者や地域の意見等を聞きながら検討する。

佐渡市畑野ゲートボール場の条例の一部を改正する条例の制定について

要望・意見 施設については、今後の確な事業評価を行い、売却、譲渡及び廃止について積極的に検討すること。

社会福祉課 譲渡する方

社会福祉課 当面は社会

の宿泊棟が老朽化しており、

傍聴のこえ



今後の佐渡を憂慮する難問山積の中で、実力のある議員の一般質問は迫力があつた。これに対する市長や担当の答弁は...？
質問と答弁がかみ合わない事が多いように見える。議員の資質（質問の内容）なのか、市執行部の問題なのか、市民に分かりやすい質問と答弁のやりとりを希望する。（無駄な時間をなくすこと）
会議中にもかかわらず、席を立つ議員が多い。喫煙のために議場を出る者もいる。

9月定例会を傍聴していただいた方々の感想です。（抜粋）

規律ある議会であつてほしい。

質問する方は真剣に聞いているのに、聞いている人の一部に私語、ヤジを飛ばす方あり。退場していただきたい！回答は曖昧、形式的なものが多くように思いました。
市民の声に耳を傾けて、市民の意見をいやす行政を。

毎定例会ごとに、傍聴入り口にアンケート用紙を設置しますので、「意見・ご要望をお寄せください。」



議会のこゝき

- | | | |
|----|-----|---------------|
| 6月 | 28日 | 議員定数特別委員会 |
| | 30日 | 各派代表者会議 |
| 7月 | 5日 | 議員全員協議会 |
| | | 各派代表者会議 |
| | 6日 | 議会報編集特別委員会 |
| | 10日 | 議会報編集特別委員会 |
| | 10日 | 建設文教常任委員会行政視察 |
| | 12日 | 建設文教常任委員会行政視察 |
| | 12日 | 総務常任委員会行政視察 |
| | 14日 | 建設文教常任委員会行政視察 |
| | 18日 | 市民厚生常任委員会行政視察 |
| | 18日 | 市民厚生常任委員会行政視察 |
| | 19日 | 市民厚生常任委員会行政視察 |
| | 21日 | 市民厚生常任委員会行政視察 |
| | 24日 | 議員定数特別委員会 |
| | | 各派代表者会議 |
| | 25日 | 議会運営委員会 |
| | | 各派代表者会議 |
| | 27日 | 第3回臨時会 |
| | | 総務常任委員会 |
| | | 市民厚生常任委員会 |
| | | 産業経済常任委員会 |
| 8月 | 17日 | 議会運営委員会 |
| | | 各派代表者会議 |
| | 21日 | 議員定数特別委員会 |
| | 21日 | 議員全員協議会 |
| | 31日 | 議員全員協議会 |
| | | 各派代表者会議 |
| 9月 | 7日 | 第4回定例会 |

行政視察来市状況

- | | |
|-------|------------|
| 6月28日 | 岐阜県美濃加茂市議会 |
| 7月5日 | 福島県喜多方市議会 |
| 11日 | 香川県さぬき市議会 |
| 24日 | 大阪府茨木市議会 |
| 31日 | 淡路地域正副議長会 |
| 8月8日 | 香川県坂出市議会 |
| 11日 | 東京都渋谷区議会 |
| 21日 | 愛媛県新居浜市議会 |
| 21日 | 愛知県名古屋市議会 |
| 22日 | 大分県宇佐市議会 |
| | 愛知県春日井市議会 |
| 24日 | 上越市議会 |
| 25日 | 愛知県小牧市議会 |

編集後記

忘年会シーズンも近づき、何かと気忙しい時期となってきました。
今、全国的に飲酒運転で痛ましい事故が多発しています。
「飲んだら乗るな」を徹底し、2度と悲惨な事故が起こらないように願うばかりです。
さて、新編集委員会となつて3回目の議会報の発行となりますが、常にどのような情報を発信、皆様にはわかりやすい紙面づくりに鋭意工夫し、また市民の皆様からも忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。

表紙紹介

約70センチの桐棒を持つひょっとこ面の男役「ちとちん」と、竹製のささらを持つおたふく面の女役「とん」が、性的要素を誇示しユーモラスに踊る。今年は、4年ぶりに赤鬼と青鬼、お囃子が復活。その昔、大和船が難所を通過するとき、初めて乗船した若者が習俗として船玉明神に奉納した安全祈願の踊りが起源とも言われている。